

磐城時報

福島縣石城郡平町紺屋町十四
編輯兼發行人 岡田弘成
印刷 所 加藤活版所
福島縣石城郡平町紺屋町十四
發行所 磐城時報社
電話 二一〇四
廣告料 一月 十元 三月 二十五元
半年 五十元 一年 九十元
日刊 (日曜・祭日) 休刊

石城秋繭の價格

一圓臺に慘落す 養蠶家大こぼし

石城郡四倉町並に勿來町の繭市この炎天は水田には申分ないが、場は二十五日から秋繭取引を開大根、白菜その他の野菜類には始されたが、二十五日の取引は非常に影響し、漬物用の大根は四倉町八百七十六貫で高値百八十九貫、平均一圓四角五、二圓三十六錢、安値一圓四角五、平均一圓八十九錢、勿來市を以て折角給水して播種期場は二百五十貫、高値二圓十錢芽生えたものも枯死する状態に安値一圓四十錢、平均一圓七十錢此の分て天候が永續されること八錢で春繭に比較すると約半額今秋の野菜の收穫が思ひやられ以下といふ惨酷な値段で、養蠶の善後策講究中である。家は大こぼしの態である。

旱天續々

野菜には悪影響

石城郡における今夏は例年にならぬ暑さと降雨がなかつたため、小名濱等の海水浴場は思ひぬ賑ひを續けて居る、小名濱測候所の話によると今夏の平均温度は攝氏二十五度前後で例年の平均二十四度前後に比べるると一、二度内外高く、海水温度の如きも二十二三度に達し平年より三度も高い、ことに土用もとうすぎた最近に至つて漸昇する傾向があるところである。

石城青年 体育大會

石城郡聯合青年團体育大會は愈々明日二十八日午前八時から平町磐城中学校庭に於て開催するが、今秋は校庭に於て本縣聯合青年團体育大會が開催されるので地元の意氣を發揮すべく郡内各町村とも猛烈な練習を續けて居りその結果が二十八日の郡聯合大會に反映するので非常な接戦を演ずべく大いに期待されて居るが、昨年の優勝は湯本町青年で今年も湯本等が興味ある戦ひを見せるものと思はれる。

舊盆の賣出しに

智慧を絞る呉服屋さん

日中の炎熱にひきかへて朝夕の物産品整理と共にこの苦況を如何に切り抜けるか、智慧を絞らねばならぬ。呉服屋さんは秋の訪れを感じさせる夏から秋へもう呉服で策戦を凝らして居るが、農村に於ては豫想以上の疲弊を來て居るので舊盆日當りの賣出しもあつてはならないものだ。打撃を受けた、敢ては例年より大差ないが何れも安物で金高がとんとあがらず、上物の賣行は豫想外の不振で呉服屋さんは青息吐息の有様であるが、舊盆に一息つかうと福引賣出し、時頃同郡渡邊村から馬頭を曳き三割引、正札五割引、夏物藏拂平町に向つて通行中後から疾走して來た貨物自動車に左後脚を

自動車轢逃げ

郡平窪村字下平窪牛馬商鈴木萬幹部(四七)は去る二十日午前八時頃同郡渡邊村から馬頭を曳き三割引、正札五割引、夏物藏拂平町に向つて通行中後から疾走して來た貨物自動車に左後脚を

轢かれトラックはその儘も名所有のもので運轉手は佐藤繁雄乗らすに行つて終つたが、右の判明したから取調られた。トラックは平町紺屋町吉田菊藏二十五日平署に告訴した。

組合から除名されても 痛痒を感ぜぬ宮川氏

平理髮業組合では宮川幸吉氏が、理事として平鐵道の出張理髮業を営むが、荒井平署長を廢止させるため幹部連が凡ゆるは何かしして紛擾を圓滿に解決する彈壓を宮川氏に加えたが、宮氏は應へぬため今度は幹部比何等かの形式で解決を見るであらうと察せられて居る。

優勝旗圖案 懸賞募集

今秋本社主催で舉行する磐城中學校對平商業學校野球對抗試合に用ふる優勝旗圖案を左の如く募集します。

- 一、用紙は圖書用厚紙
- 一、優勝旗の型は隨意
- 一、締切、八月三十一日
- 一、採用のものに謝金を贈る

平警察署にとつて 迷惑至極の宣傳

鯨岡警部補調査

平警察署では最近湯本町を中心として至極迷惑な宣傳が行はれ出張し噂の出所を調査する事にてゐるので二十五日鯨岡警部補なつた、平署にとつて迷惑な噂が噂のやうな事實がない事が判湯本町八仙居住九右飯場居住

未發見の 片腕の行衛

爆藥情死事件後報
平町宇三丁目カフエー花月事久田好雄方で二十四日未明女給高倉千代と無理心中をなさうとして湯本町上町善太郎二男鹿又勝衛(二七)のみがダイナマイトで

香具師喧嘩

平町宇南町料理店永山キン方に二十五日午後二時頃から客が來り午後六時頃一度勘定をすまし再び飲み始め午後十一時頃勘定となつた際持ち合せがない事が判り客と主人が争ひをして居るうち通りかゝつた平町新川町某が仲に入り俺は香具師だぞと稱し件に金を出させやうとして居る際、今度は本物の香具師が通りかゝつて新川の偽香具師と喧嘩となりこの騒ぎに乗じて飲み客は何れへか金を消した。新川の男は香具師のため頭部その他を散々に毆打された。



田卷、長瀬、綿引三君の 自転車旅行

(前項の續き) 益々埼玉縣に深入ると僕等の前には素的な田園が開かれる。その灌漑の便、江水の利に加ふるに良く整理された耕地は全国的に模範だ。道路が一步茨城に入ればその圓滑さは別だ、暫く續く大利根の堤には一面の櫻樹がある。沿岸は大部分作られた。農家は静かだ、杉、杉の林間が高く涼しく、架された床、下には二、三人の子供等が遊んで居る。それに大利根(此處は上流)の鐵橋は好

危険!! 危険!!

地上に垂れた高圧線 草刈中に感電惨死

双葉郡久ノ濱町字東町遠藤岩吉妻ハツ(三九)は二十五日午前七時半頃長男(十五)を連れて同町館山地区で草刈中三千五百ボルトの高圧線が電柱から外れて地上に垂れ下がった。ハツは電線に接触して感電死した。四倉署から神永部長出張検視した。高圧線切断の原因について目下取調中である。

雇傭員表彰式

雇傭員表彰式は二十四日石城郡小名濱町で舉行されたが、表彰者左の如し

- ▲福島 内池商店内角田平吉
- ▲佐藤文次、矢萩豊吉方野野
- ▲治 ▲郡山 郡山商業銀行内
- ▲金田岩作、橋本藤右衛門方後
- ▲藤初吉、増子富次方大久保一
- ▲吉、石黒文次郎、野内勘造方
- ▲野内文彌 ▲若松 松下爲藏
- ▲方阿部鶴三、石川一郎、石本
- ▲平五郎方阿部忠一井上重兵衛
- ▲方増子長五郎 ▲喜多方 佐藤喜十郎方唐橋セシ、眞壁守
- ▲平方雄谷泰治、石川平吉、植
- ▲本佐吉、横田老清、佐竹さく
- ▲坂下 ▲桑原英吾方鈴木幸四
- ▲三 ▲桑折 氏家利吉方佐藤
- ▲三 ▲須賀川 矢代末吉方
- ▲田中八郎、菊地權次郎方根本
- ▲秀藏 ▲白河 安田佐兵衛方
- ▲白岩新市 ▲三春 小松野方
- ▲木賊三 ▲平町 岡田千藏
- ▲方杉崎新三郎、鈴木堅助方佐
- ▲々木茂、本間三郎方大河原孝
- ▲貞、松崎長三郎方山野邊庄助
- ▲山野武雄、高野得助方川田
- ▲敬三、柏原幸次郎方若松盛次
- ▲松崎喜代司、狭野國八郎、狭
- ▲野直次方館内安治、星野八
- ▲方高橋義男、▲若松 五十嵐

鮮人を轢く

石城郡小名濱町字下町七五馬目から現金五十五圓在中の墓口を窃取し逃走したが、その後同人の仕事らしい犯罪が石城郡各所に現はれて来たので平署では各警察署に手配をなした。

女を轢く

石城郡四倉町字仲村木商植田万次郎所有トラック自動車を二十五日午後一時頃同町字仲村の處二十三日豫審終結平町真木方與平二五が運轉し双葉郡廣野方面から歸途同郡江の網坂に於

五十圓盗む

石城郡磐崎村大字藤原三井炭礦朝鮮飯場三宅雷助方へ去る五日金達(二七)と自稱する住所不定の男が来り同飯場居住の鮮人李顯均(一九)が寝て居る枕下から現金五十五圓在中の墓口を窃取し逃走したが、その後同人の仕事らしい犯罪が石城郡各所に現はれて来たので平署では各警察署に手配をなした。

豫審終結

双葉郡新山町字前田半谷寛(四〇)は去る五月中飲酒の上親子喧嘩をなし鐵瓶を投げつけて父を殺した尊族殺し事件はその後平支部中谷豫審判事が取調べ中の處二十三日豫審終結平町真木方與平二五が運轉し双葉郡廣野方面から歸途同郡江の網坂に於

耳鼻咽喉科 専門

平町仲田町七一

合津醫院

電話五五九番

三日のむだらピツタリよまろ

新治淋 トリプチン

定 價 (三日分壹圓 七日分二圓 十一日分參圓 廿日分五圓 四十五日分 拾圓)

平町一丁目(電話六四二番)

特約一手販賣店 **大平屋藥舖**

謹告

私儀慢性中風症にて半身不随となり四ヶ年、その間醫療は勿論、凡ゆる方法を試みたるにその効果なく全く前世よりの縁因と諦め居りました處最近平町田町福山靴店隣に愛性諸病療界の權威エチエスライト實驗所藥生堂光線科院の開院を聞き僥倖を期し同院の光線治療を請ひ二週間程治療を連続致した處その効果著しく前記の如く四年間凡ゆる療法で効果がなかつた私の中風症が一日と効果を顯はし、治療前は室内も自由に動けなかつた身體が今では治療所まで自由に通院が出来るやうになり、今後一ヶ月も引續き治療せば暗夜に光明を認める如く恢復する事を確信し一意専心治療に従事して居ります元々この治療法は普通一般の電氣療法とは根本的に異なり學理的線線療法なるは勿論人體講成上密接なる作用を興へ、而も何等不快の念なく治療するもので諸病者にして救はれたるもの枚擧に遑あらず、殊に胃腸、婦人病、動脈硬化症、神經痛、脊髄、リウマチス、レイネキ等慢性諸病に効果著るしく之等諸病に悩む人々は速に同院の治療をうけ、その苦惱を除かれるやう私の實地効果により罹病者各位に御薦め致す次第であります。

平町二丁目 藤市號 遠藤市松

貸家廣告

平町三丁目二八番

元鈴木はきもの店

二階建土蔵、店、勝手、座敷、煉瓦倉庫附及水道 其他附屬品一切

右御希望の方は當店へ御來談下さい

鈴木 宅

印刷物 は.....加納活版所

團體には銀バスを!!

そしてタクシーとトラックは?

是非料金底廉の

マツザキタクシー

電話は.....四四九

獅子吼

實鐸院新盆に相當り候へ共提灯、其の他の供物御贈與を一切御遠慮申上候間御諒承願上度失禮乍ら以紙上謹告仕候

平町字田町

森本盛一

飯田近治

平町字一丁目

金子重次

平町田町

謹告

亡父重雄儀新盆に相當り候へ共緊縮の折柄供養提灯並に供養料其他一切の御贈與を甚だ勝手がま敷候へ共絶對御辭退申上候間不惡御承知被下度願上候

昭和五年八月

平町字鍛冶町

後見人 **酒井秀治郎**

一葉印刷所

平町字仲町 電話七三四